

## 第60回技能五輪全国大会「和裁」職種

### 競技課題

次の注意事項及び仕様に従って、競技時間内に付下げ女子用あわせ長着を仕立てなさい。

1 競技時間 9時間

2 注意事項

- (1) 統一材料を使用し、仕立て寸法規定に従うこと。
- (2) 特殊加工（ガード加工など）はしないこと。
- (3) 使用工具等は「使用工具等一覧表」で指定したもの以外は、使用してはならない。ただし、障害がある場合は、その程度に応じて必要とする工具等の使用を認めるので、事前に全国和裁着装団体連合会 03-3816-1858 に連絡すること。当日の申告は不可とする。
- (4) 競技中は、工具等の貸し借りを禁止する。
- (5) 競技開始前に、針に糸を通してはならない。
- (6) 作品をたたみ上げた時点をもって作業終了とする。
- (7) 競技終了時刻になった旨を知らされた場合は、直ちに作業をやめ、競技委員の指示に従うこと。
- (8) 作業時の服装等は、作業に適したものであること。
- (9) 競技エリアの絨毯内は土足厳禁とする。
- (10) 以上の注意事項に基づき、怪我のないよう十分注意して作業をすること。

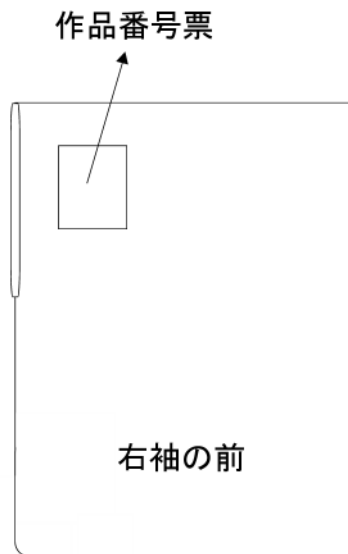
### 3 仕 様

|        |                 |
|--------|-----------------|
| ・仕立て寸法 | 身丈・・・背から4尺2寸    |
|        | 袖丈・・・1尺3寸       |
|        | 衿・・・1尺7寸5分      |
|        | 袖巾・・・9寸         |
|        | 袖付・・・6寸         |
|        | 袖口・・・6寸         |
|        | 後巾・・・8寸         |
|        | 前巾・・・6寸5分       |
|        | 抱巾・・・6寸5分       |
|        | 衽巾・・・4寸         |
|        | 合襷巾・・・3寸8分      |
|        | 繰越・・・5分         |
|        | 襷下・・・2尺1寸       |
|        | その他の寸法は標準寸法に準ずる |

- (1) 事前に縫い上げておく箇所は、次のとおりとする。  
右そで。えり先布と裏おくみのこはぎ。裏身ごろは、胴裏、裾回し(八掛け)、胴はぎの縫製まで。(胴裏の背縫いは自由とする)
- (2) 競技会場で行うものは、次のとおりとする。  
左そで。表身ごろ。裏身ごろの前幅のしるし付け(へら付け)をし、おくみ付けから仕上がりまで。※事前に身ごろに前幅のしるし付け(へら付け)をしてはいけない。
- (3) えりは、表裏別縫いとし、えり先は本止めとすること。ただし、えり先縫い代を表裏のおくみではさむ。
- (4) 共えりは、別がけとする。ただし、くけは束ぐけでもよい。
- (5) そで口布は、回しがけとする。  
※事前に口布を付けるためのしるし付け(へら付け)をしてきてはいけない。
- (6) 共えり及びつま下(えり下)のしつけは、事前に行ってきたてはいけない。
- (7) しつけの種類は自由とする。
- (8) 三つえり芯の長さは8寸(30cm)以内とする  
※三つえり芯を事前に付けてきてはいけない。
- (9) 競技終了後のおもしはしてはいけない。
- (10) 裏えり、胴はぎの縫込みは、止めても止めなくてもよい。ただし、他の縫込み(裾も含む)は止めてはいけない。
- (11) 耳がつれる理由での切り込みはよしとする。ただし、耳を切り落としてはいけない。切り込みの深さは1分5厘までとする。

**注:**原則的にすべての箇所についての幅のしるし付け(へら・チャコ等)、折り(スジ等)はしてきてはいけない。(肩山の折、袖付けの折、裾の折は可)  
表裏のおくみ付けのしるし、えりの流れのしるしは可とする。ただし、しるしとしるしの間隔は6cm以上空けること。

作品番号票は、下図に示す位置に取れないように縫い付けること。ただし、縫い付ける時間は競技時間外とする。



#### 4 支給材料

付下げ表地・八掛・胴裏

#### 5 採点項目等

| 採 点 項 目 |         | 配 点 |
|---------|---------|-----|
| 作品採点    | 仕 様 誤 り | 100 |
|         | で き ば え |     |
| 作 業 態 度 |         |     |